

〔箋注倭名類聚抄<sup>牛七馬體</sup>〕齊民要術云、前後目、注云、夜眼、金匱要略、馬脚無夜眼者不可食之、

〔倭名類聚抄<sup>牛十一馬體</sup>〕蹄護杵附護杵玉篇云、蹄徒奚反、訓比豆米、辨色、牛馬蹄也、

〔倭名類聚抄<sup>牛十一馬體</sup>〕糞門附糞伯樂曰、糞門今按謂馬尿也、尿音禿見形體部、李緒曰、糞欲八方、

陰脉。伯樂相馬經云、陰脉俗云麻、真佐夜

〔圓流騎馬法三〕馬體之次第

一耳たち天をさすが吉 一耳間ちかく付くが吉 一耳先とがりたるが吉 一耳の根

ふときが吉 一耳ちいさきが吉 一額の辻あがりたるが吉 一額ひしげたるがよし

一面に肉なきがよし 一下口びる三分長きがよし 一眼見ひらきたるがよし

一眼の下こけたるがよし 一眼の内、其馬の毛色なるが吉 一眼の下骨たかく、竹をわり

て當たるやう成、 一大笹の事 一小笹の事 一鼠眼の事 一眼張、上は弓のごとく

曲、下はすくなり、 一眼三角なるがよし 一鼻の穴ひろきがよし 一息のいかしの事

一ふきあかしあかくみゆるがよし 一かうぎわの髪うすきがよし 一首長きがよ

し 一ほくと折たるがよし 一平首、弓を張たるやう成がよし、 一ゑり合廣きがよし

一かうぎは一重なるがよし 一首立て強きがよし 一三ヶ月骨さがりたるがよし

一かうぎはうすくなへざるがよし 一肩骨は、廣成がよし 一肩二ツの骨、物をあ

てたるやう成がよし、 一夜目のふし、ふとく肉なきがよし、